

## 学習内容報告書

学校名	釜石市立釜石小学校
授業者	奥村 岳人

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

学ぼう Workin 釜石

#### 1-2. 学年

6 学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

#### 1-4. 単元の概要

本単元「学ぼう workin 釜石」は、地域の基幹産業である漁業の中でも、ワカメ養殖にスポットを当て、ワカメの生態や種付けから加工までの工程について、地域の漁師や岩手大学釜石キャンパス専門職員等の協力を仰ぎながら学習を行う。

学習の際には、塩蔵ワカメの芯抜き体験やワカメの種付け体験等の体験的な活動を重視したり、地域の漁師や大学専門職員の話を聞いたりすることで、地域の産業への理解を深めるとともに、地域の環境に関心をもたせる。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

「三陸ワカメ」の一大産地である釜石でワカメ養殖の学習を通して漁業や海洋資源・環境についての理解を深め、児童の興味喚起と郷土愛の醸成を目的とする。

一年で種付けから収穫までを完了するワカメの学習を通して釜石市のキャッチフレーズ「鉄と魚とラグビーのまち」の一つである魚(魚介類)や漁業に触れることで、食卓にのぼることが多いワカメに親しみ、地元の食材を通して釜石の海を知り、学ぶことで郷土愛を育み、海を守る意識を醸成する。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ワカメについて、種付けから収穫までの養殖の過程や生育に必要な環境条件を学んだり、芯抜きや種付けの体験などを行ったりすることを通して課題の解決に必要な知識と技能を身に付ける。
- ・ワカメの生育や生産について、体験活動を通して学んだことをまとめる活動を行うことで、情報を整理し、説明する能力を身に付ける。

1-7. 単元の展開（全15時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	○オリエンテーション ・ テーマを知る	・ 総合的な学習の時間の基本的な流れを確認する。
1	○課題をつくる ・ 課題を考え、学習計画を立てる。	・ 学習の概要をもとに、知りたいことや深めたいことを考える。
3	○ワカメの学習会 ・ ワカメの一生、生態、養殖、収穫、加工等について（1） ・ ワカメの芯抜き体験（1） ・ 振り返り（1）	・ すなどり舎齋藤氏、岩手大学田村氏による説明を聞いたり、質問をしたりする。  ・ 活動の振り返りをする。
2	○海についての学習会 ・ 岩手の海に関わる研究（魚・生態系等）についての講話（1） ・ 振り返り（1）	・ 岩手大学院生による発表を聞いたり質問したりする。  ・ 活動の振り返りをする。
3	○ワカメの種付け体験 ・ 乗船体験とワカメの種付け体験（2） ・ 振り返り（1）	・ すなどり舎齋藤氏、岩手大学田村氏による説明 ・ 地域の漁師である久保氏によるワカメの種付けの実演指導と種付け体験を行う。 ・ 活動の振り返りをする。
3	○ワカメの間引き作業視聴 ・ ワカメの間引き作業の動画視聴、説明（1） ・ 早採りワカメ試食体験（1） ・ 振り返り（1）	・ すなどり舎齋藤氏、岩手大学田村氏、地域漁師久保氏による説明を聞いたり質問したりする。  ・ 活動の振り返りをする。
2	○活動のまとめ ・ 調べたことや学んだことをまとめ、学習を振り返る。	・ 地域の産業、環境、資源、それを支える人について、自分なりの考えをまとめられるようにする。

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

ワカメの種付け体験をすることで、地域の海の豊かさや、地域の環境を生かした養殖を行っていることを知り、豊かな環境が地域の産業を支えていることを理解する。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○両石漁港で活動についての説明を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワカメの種付けについての簡単な説明</li> <li>・船上での活動があるため、安全面について指導</li> </ul> <p>○3グループに分かれ、以下の活動を行う。</p> <p>①乗船してのワカメの種付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の漁師久保氏による実演と指導</li> <li>・海の環境についての話</li> </ul> <p>②ワカメについての学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習したワカメや海の生き物についてクイズ等を行いながらの復習。</li> </ul> <p>③種糸づくり、収穫、湯通し作業についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業小屋でワカメの胞子を種糸につける作業や収穫したワカメを湯通しして加工するまでの作業工程の説明。</li> </ul> <p>※ローテーションで①～③の活動をすべて行う。</p> <p>○感想発表とお礼のあいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に3つのグループに分ける。</li> <li>・各グループに教員が入る。乗船の際には、学習活動を支援したり安全面の指導に当たったりする。</li> </ul> <p>☆ワカメの種付けなどの養殖の仕方や、ワカメを育てるために海の環境保全が大切であることを知ることができたか。【評価】</p>

### 3. 今回の活動の自己評価

水産業の盛んな地域にありながら、実際には漁業に触れる機会に乏しい本校児童にとって、今回の学習は大変有意義なものとなった。特にも、日常口にする機会の多いワカメについて、その養殖の過程を学ぶことは、地域の環境や地域の産業を支える人の思いについて知ることにつながり、ひいては地域に対する誇りと愛情を育むよい機会になったと考えられる。

また、総合的な学習の時間の目標の中に「自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成」という一文があるが、今回の学習で地域の漁師に学ぶことで、仕事についての考え方や真摯に取り組む姿に直接触れることができたのは、自己の生き方を考えていくうえで大きな助けになったと感じている。

### 4. 今後の課題

自然が相手のため、ワカメの生育状況や海の状況により、実施時期に制限が出たり、計画通りの実施が難しかったりする場合があります、その都度、協力者との調整が必要になることが課題である。

また、大きく3つの体験活動を行ったが、単発的な取組にならないよう、単元の最初に全体的見通しをもたせることや、活動後、どのように学びをまとめていくかについて、担当者と担任の間でより共通理解を図っていくことが必要である。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし